

62 巻 4 月・増刊号(62 巻 4 号)予告

尿沈渣検査がわかる！ 疾患・病態の理解につながるテクニク

●定価：本体 5,000 円＋税

2018 年も「臨床検査」は、臨床検査技師の皆さんに役立つ内容をまとめた増刊号を年に 2 回発行！ 2018 年の第 1 弾は、「逆引き尿沈渣ガイド」をお送りします。

尿沈渣検査は腎・泌尿器系疾患の診断に欠くことのできない検査です。しかし、そこから読み解くことができる情報量の多さゆえに、尿沈渣検査を正確に診断に結びつけるためには多くの経験と知識が必要になります。そこで今回は、“尿沈渣検査の結果”と“病態・疾患の理解”をつなぐ架け橋となる増刊号を企画しました。本書を読めば、明日からの尿沈渣検査結果の見方が変わります！

総論

- I 腎・排尿路の解剖
- II 尿路の検査
- III 尿路の処置・手術
- IV 図式解説

総論ではまず、腎・排尿路の解剖学、知っておくべき尿沈渣検査以外の検査、主要な処置・手術について理解し、腎・泌尿器診療の全体像を押さえます。そのうえで、尿沈渣検査の結果をどう読み解き、他の検査の結果をどう解釈すればよいのか、その思考プロセスを学びます。

各論

- V 腎疾患 尿沈渣成分
- VI 泌尿器疾患 尿沈渣成分
- VII 全身性疾患 尿沈渣成分
- VIII 術後・処置後 尿沈渣成分

各疾患について、尿沈渣検査の特徴を踏まえて解説。総論で学ぶ全体像と各論で学ぶ疾患の知識を組み合わせれば、検査と疾患・病態がつながります！

*特集内容については変更になる可能性があります。